

第11回アドバイザー・ボード会合の概要

「アドバイザー・ボード」の第11回会合の日時・出席者、概要等については、以下に示すとおりである。

日 時：2012（平成24）年2月28日（火） 13時00分～15時00分

場 所：神戸大学六甲台本館3階大会議室

出席者：

アドバイザー・ボード委員（五十音順、敬称略）

家次 恒，江崎 勝久，尾崎 裕，金尾 茂樹，高崎 正弘、矢崎 和彦
経営学研究科教員

金井 壽宏，中野 常男，國部 克彦，黄 磷，松尾 博文，平野 光俊，
高橋 潔，内田 浩史，鈴木 一水，栗木 契，中井 正敏
（田村正美）

概要

まず、冒頭で、金井研究科長より、神戸大学を特徴ある大学としてさらに発展させるために、社会科学系がリードをとる必要性があることについて、学長の理解、全学的な支持を得ることができ、経営学研究科がイニシアティブをとり、かつ、他の四部局と相互に切磋琢磨しながら協力できるような体制を固める基盤が整ったので、社会科学系教育研究府が設立されることが報告された。続いて経営学研究科の現況について、次のとおり報告があった。①学部については専門を深めながらも経営学の全般にふれ、将来ゼネラルマネジャーの道を選べる基礎を重視してすでに改組をおこなっているが、この度、大学院についても経営の実践における現実の問題は学問分野を横断するものが増えており、それに対応するためのものとして、文部科学省より一専攻化が認められたので改組したこと、②神戸大学大学院経営学研究科の将来を構想し、議論し、方向付けについて意見を交換する会合を、研究科の全教員により、通常の教授会とは別に特別に開催し、多様な考えがあることを尊重しつつも、今後の将来の方向性について基本となる考え方を共有したことの報告があった。

以上の概括を研究科長がおこなった後、具体的な各論について、次のとおり報告がなされた。

まず第1に、環境マネジメントの分野で先進的な研究と実践への提言に基づき、12月に海外からの有力学者を招いて、本学で環境省研究総合推進費により開催された国際的なシンポジウムについて、國部克彦教授から報告があった。

次に、重要な課題となりつつあるグローバルに通用する経営リーダーの育成に関して、主要企業の人事、人材育成の責任者とともに、議論するために、グローバルリーダー養成システム構想委員会を発足させ、東西の地で会合を重ねてきたので、その活動について平

野光俊教授から説明があった。

第3に、KIBERプログラムについて、特に学部学生に早い時期からグローバルな発想を持って語学にもなじむように留学してもらおう交換プログラムを用意しており、留学しても4年で卒業できる仕組みを整備してきたので、推進者の松尾博文教授から説明がなされた。

第4に、経営学入門演習について、3年生になって専門科目を本格的に学ぶ前の1年生むけのゼミ制度であるが、その中でも特徴あるゼミ紹介として、高橋潔教授からゼミのビジネスプランをつくる活動について、授業のビデオ映像も交えながら説明があった。